

起因物、事故の型：木材、竹材 - 崩壊・倒壊の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労 働 者 規 模
1	17~ 18	戸建て住宅にて部材の差し上げ作業中に、元々背後に立てかけてあった部材が何かのはずみで倒れてきてぶつかり、転倒した。	38	30202	—
2	6~7	店の玄関口で店先の看板の位置を直している時、約2.5cmの段差上段に左足小指側だけ乗せてしまい、体重を左足小指一点にかけてしまった結果、骨折した。	48	40301	10 ~ 29
2	17~18	自社、作業場にて材料（木材）（120×120×3000）を横積み中、5段目（高さ約1.5m）から、材料が崩れ落ちてきて、右足を負傷した。	60	30202	1~ 9
2	14~15	裁断の為、原板の内何枚か奥に挟まっている板を抜き出そうとして、手前側の板が倒れかかり、板の重みでコンクリートの地面に転倒し、頭部と左踵を被災した。	53	10501	30 ~ 49
2	8~9	芯材組立工程の木芯材投入口で、芯材を入替作業時、通常フォークリフトが待機してから芯材を動かすが、フォークリフトが待機場所に入る前に芯材を動かし、投入台から落ちそうになった為、手で押さえようとしたところ、芯材が崩れそうになり、体を避けたが、逃げ切れず、右足の上に芯材が崩れ骨折してしまった。	38	10409	50 ~ 99
3	10~11	角材を動かし選別していたとき、角材の間に浅木がかっているのをノコギリで切っていたところ、角材が左足首に倒れかかり動けなくなった。	59	10401	10 ~ 29
4	15~	倉庫内にてトラックへ塩ビパイプを積み込む際、パイプを持ち上げた振動で仮置きしていた他のパイプが背後から倒れた。パイプは首後ろに当た	20	80209	10 ~

	16	り、痛みが出た部分をすぐにアイシングと湿布をした。翌日は痛みを感じながらも通常業務を行ったが、痛みが酷くなった。			29
4	23～ 24	発着台において、パレット置場へ移動させた5台の折りたたみパレットを整理するため、外側のパレットから1台ずつ動かしていたところ、パレットがわずかな床の段差でバランスを崩し、残り4台にひっかかって社員の方へ倒れかかってきたので、とっさに支えようとしたが支えきれず、身体の左側とお尻を強打する。	55	110101	～ 999
5	16～ 17	タイヤ交換時にタイヤを持ち上げようとした際、腰を痛めた。	31	11709	～ 49
5	16～ 17	野外ダンスフェスの打ち合せのため現地で話をしている時、積んであった木が崩れ右足首に直撃し、足の指から脛上まで出血して足が腫れた。	33	120109	～ 29
5	10～ 11	園庭に置いてあった長さ約3m、直径約20cmの丸太を撤去する際に誤って足の上に落とした。	57	130201	～ 299
5	10～ 11	納品作業中、トラック庫内で荷卸し作業をしていた時、庫内の一番前の壁に立て掛けてあった板（約90cm×約180cm）が倒れてきたことに気付かず背中に当たり転倒した。その際、膝に体重がのった状態で床にぶつかり、左膝蓋骨骨折を負った。かなりの痛みがあったが業務を終え、その後、立つことができなくなった。	41	40301	～ 49
5	21～ 22	事業先で、製品の梱包に使用したコンパネ（縦1.8m×横1m、重量10kg位）を車両の前部荷台の壁に立て掛け、動かないように車両に固定されているバンドを引っ張った時に固定されている片方のフックが外れ、そのはずみで尻もちと両手を床につき、その時にコンパネ7枚が前方に倒れ、左手の指に落ちて骨折した。	42	40301	～ 49
6	9～	配達先にて、荷降後の荷台の片付け作業中、コンパネを留めてあったラッシングベルトの捻じれを直そうとベルトを外した際、立て掛けてあったコ	43	40301	～

	10	ンパネ20枚が倒れ、左足が挟まり負傷した。			49
6	8~9	製材所にて、おが屑専用タンクからトラックにおが屑を積み込んでいる時、何らかの要因でトラックの荷台のおが屑に埋もれているところを、製材所の方に発見された。	53	40301	10 ~ 29
6	9~10	倉庫の卸し場にて、トラック荷台の中で荷物（ロールカーペット）を荷卸し中、トラック前方に立て掛けておいたコンパネが、ロールカーペットの本数が少なくなってきた頃、倒れないと思っていたが、トラック後方を向いてラックに積み上げる作業をしていた被災者の後方に倒れて来て、コンパネと荷物に頭を挟まれた。その際にメガネが割れ、左目と周辺を負傷した。	59	40301	30 ~ 49
7	13~14	車庫にて資材を片付けようとして、立て掛けてあったコンパネのラッシングを外し、5枚程を倒れないように角度をつけて、1枚を後方へ移動させた時、残りの4枚が自分の方に倒れてきたため押さえきれずトラックボディの外に投げ出され、転落時に右肘を着いてしまい骨折した。	46	40301	10 ~ 29
7	15~16	営業所内の宿舎脱衣所において、風呂の準備を行っていた。すのこを指定の場所へ置くためにすのこを持ち移動中、床が濡れていたこともあり、転倒。後頭部を強打したものである。	39	150102	10 ~ 29
7	10~11	柱の積んであるところからチップにする柱（約15cm角×3m）を取ろうとした所真中あたりの木が崩れて右くるぶしの上に落ちて損傷した。	60	10409	1~ 9
7	9~10	荷物を積み込み出発し、翌日朝荷降ろし作業の後、トラックの荷台の片付けをしている時に、緩衝材に使うベニヤ板が倒れ左足ふくらはぎ・甲に当たり負傷した。（会社へ帰る道中腫れてきた）	23	40301	10 ~ 29
7	12~13	荷受場で商品の入ったオリコンを移動したときに、壁面に立てて置いたバックルーム用ラックの棚板が倒れてきて、左腕と左胸にぶつかった。その時に倒れてきた棚板を支えようとした際、腰と左腕を痛めた。	48	80209	30 ~ 49
7	10~	当社置き場において、まくら木の片付け作業中、積み重なっていたまくら	19	30209	30 ~

	11	木が崩れ、左肩に激突し負傷した。			49
7	13～ 14	倉庫内において、単独で整理整頓をしていたとき、立て掛けて置かれたバタ角（建設工事のコンクリート打設の際に型枠仮設補強などに使われる、約10cmの角材）が倒れて来て、首を負傷した。	56	30199	30 ～ 49
9	11～ 12	保育園のホール内の倉庫の中に巧技台を片付けていた時に、壁に斜めに立てかけ跳び箱で押さえていたと思われるビーム（細長い板）が、跳び箱が少しずれたことにより2本倒れてきた。その時、腰を曲げており、そこにビームが当たり負傷した。	47	130201	50 ～ 99
9	14～ 15	型枠を作成中、仮に柱に立掛けてあるコンパネ（1600×900重さ約15kg木製）の下に置いてあったベニヤをしゃがんで引っ張った際、コンパネが倒れ首の後ろをコンパネの側面が直撃し負傷した。	25	30309	1～ 9
9	9～ 10	中学校便所改修工事の現場である1階の工事エリアにおいて停電が発生したためブレーカーを復旧しようとしたところ、分電盤の扉にフレキシブルボードが40枚ほど立て掛けてあったため開閉できない状況だったので、ボードを仮設間仕切りに立て掛け人力で支えながら扉を開けようとしたところ支えきれず、当該作業員の右足に倒れ地面との間に挟み負傷したものである。	36	30209	1～ 9
9	9～ 10	新築工事で材料搬入作業中に、搬入済間柱を整理していたところ、積み上げた間柱が崩れ落ち、右膝を負傷した。	29	30202	1～ 9
10	14～ 15	共同住宅解体工事で、資材置場で木の整理中に木材を積み上げていたところ、木材が崩れ出て右足に当たり骨折した。	71	30309	10 ～ 29
10	9～ 10	駐車場にて従業員（被災した者ではない）がフォークリフトで合板を2山重ねて運んでいた。地面が平らでなく不安定なため、1山にしようと一旦停止したが、フォークリフトの爪を前に出さず、そのままの状態を下げてしまったために、車輪のアームに当たり、合板が隣に駐車していた車の屋根に崩れ落ちた。被災労働者を含め、複数名で合板が山を片付けていた	29	80209	100 ～ 299

		が、板を取り除いた際に合板の山が崩れてしまい、後ろ向きで片付け作業を行っていた被災労働者を落下した。振り返ったが、避けきれず、合板に右足が挟まれ怪我をしてしまった。			
10	15～ 16	現場の倉庫でトラックの荷台に有るコンパネ（木のボード）を1枚ずつ降ろす時に数枚が滑り落ちて来て左足の背部を打撲した。	41	40301	50 ～ 99
11	14～ 15	本社事務所敷地にて、書庫増築に伴う基礎杭打ち込み作業中（丸太木杭）、ヘルメットの顎紐の装着を怠ったことと、周囲の安全確認不足で、木杭打ち込みの際、雪や地盤の影響で杭が滑り倒れ、被災者の頭部に接触した。	63	30201	1～ 9
11	17～ 18	局内小包エリアにて翌日持ち出し分の荷物を準備する為、荷物を持ち上げ移動しようとしたところ、右肩を脱臼した。仕事終了後、病院を受診した。全治3週間と診断されたが、デスクワーク等の軽作業であれば就業可能である。	44	150102	30 ～ 49
11	9～ 10	テーブル製材機の前で、製材をしていて、4000mm×105mm×105mmの角材が何本か崩れて、足に乗ってしまった。その後は、通常の作業を続けていたが、段々と痛みが増したらしく、翌日、骨折と判明した。	49	10409	1～ 9
11	14～ 15	待機場所で搬入待ちしている時に、トラックの荷台を片付けようと、後方の扉を開けて、扉付近のベニヤ板を前方に倒そうとしたところ、ストッパーのベルトが外れており、ベニヤ板（10枚）が自分の方に倒れて来たので頭を守るためベニヤ板を支えようとして、左手人差し指・中指を負傷した。	64	40301	10 ～ 29
11	7～8	荷卸工場にて、荷卸の準備の為、車輛荷台後部扉を開けた際、後部に積んでいた緩衝材（コンパネ20枚）が落下してきて、転倒し、腰を強打した。 [再発防止対策] アオリ、扉を開ける時は荷台上の状況を目視してから、ゆっくりと開ける。	28	40301	10 ～ 29

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html